

学んで楽しい「延岡の歴史」講演会

# 甲斐氏の興亡

甲斐氏は、延岡はもとより県北においても最も多い姓である。しかし、その歴史については、必ずしも多くの人に知られていない。

甲斐氏は、九州の南北朝の動乱における南朝の旗頭であった菊池氏をルーツとしている。鎌倉時代において十代武房が亡くなった時、孫の時隆と子の武本との間で家督争いが起こり、決着がつかず鎌倉幕府に訴えた。しかし、武本は敗れ、その子武村は、甲斐国（山梨県）に逃れ、甲斐氏を称した。

その後、甲斐氏は、南北朝期、室町期を経て、戦国時代には、肥後の有力国人衆に成長したが、島津氏との戦いに敗れ、歴史の表舞台から去る。

今回は、甲斐氏がなぜ延岡はもとより県北に多くいるのか、その一端を多くの市民に知っていただきたいと思いますので、多数の方のご来場をお願いいたします。

◆ と き 令和6年1月13日（土）

14：00～16：00

◆ ところ 延岡中小企業振興センター

入場無料（ただし、資料代200円）

≪講師≫ 延岡ガイド・ボランティアの会

会長 九鬼 勉

【主催】 延岡ガイド・ボランティアの会

問合先 090-1976-4927（九鬼）